

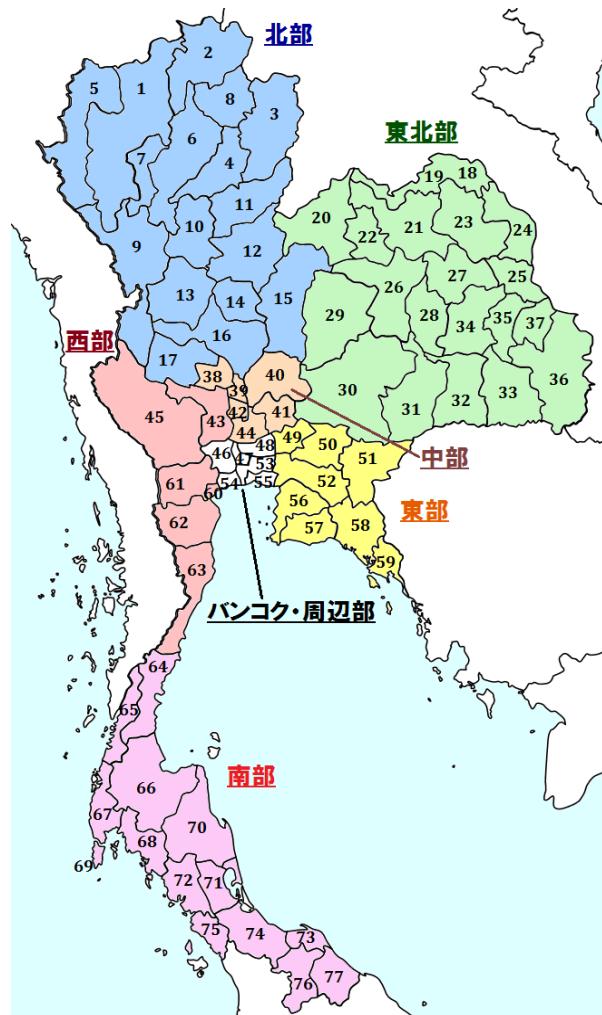
第24章 地域別の概要

1. タイの地域分類

タイの地域区分には何通りかの分け方がある。人々の感覚では、タイ全土を北部、東北部、中央部、南部の4つの地域に分ける場合もあるが、一般的には中央部をさらに東部、中部、西部、バンコク首都圏に分類し、統計もこれら7地域の分類に基づき発表されている（図表24-1）。

図表 24-1 タイの県名と所在地

北部地方		
1	チェンマイ	Chiang Mai
2	チェンラーアイ	Chiang Rai
3	ナーン	Nan
4	プレー	Phrae
5	メー・ホーン・ソーン	Mae Hong Son
6	ランパン	Lampang
7	ランブーン	Lamphun
8	バヤオ	Phayao
9	ターカ	Tak
10	スコータイ	Sukhothai
11	ウッタラディット	Uttaradit
12	ピサヌローク	Phitsanulok
13	カンペーンペット	Kamphaeng Phet
14	ピチット	Phichit
15	ペッチャブーン	Phetchabun
16	ナコンサワン	Nakhon Sawan
17	ウタイターニー	Uthai Thani
東北地方		
18	ブンカーン	Bueng Kan
19	ノーンカーアイ	Nong Khai
20	ルーアイ	Loei
21	ウドンターニー	Udon Thani
22	ノーンブアランブー	Nong Bua Lamphu
23	サコンナコン	Sakon Nakhon
24	ナコンパノム	Nakhon Phanom
25	ムクダーハーン	Mukdahan
26	コーンケーン	Khon Kaen
27	カーラシン	Kalasin
28	マハーサーラカム	Maha Sarakham
29	チャイヤブーム	Chaiyaphum
30	ナコンラーチャシマー	Nakhon Ratchasima
31	ブリラム	Buri Ram
32	スリン	Surin
33	シーサケート	Si Sa Ket
34	ローエット	Roi Et
35	ヤソトン	Yasothon
36	ウボンラーチャターニー	Ubon Ratchathani
37	アムナートチャルーン	Amnat Charoen
中部地方		
38	チャイナート	Chai Nat
39	シンブリー	Singburi
40	ロップブリー	Lop Buri
41	サラブリー	Saraburi
42	アーントーン	Ang Thong
44	プラナコンシーアユタヤ	Phra Nakhon Sri Ayutthaya



バンコク首都圏			南部地方		
46	ナコンパトム	Nakhon Pathom	60	サムットソンクラーム	Samut Songkham
47	ノンタブリー	Nonthaburi	61	ラーチアブリー	Ratchaburi
48	パトゥムターニー	Pathum Thani	62	ペッチャブリー	Phetchabun
53	バンコク	Bangkok	63	プラチュワブキーリーカン	Phachau Khiri Khan
54	サムットサーコン	Samut Sakhon	南部地方		
55	サムットプラカーン	Samut Prakan	64	チュムボーン	Chumphon
東部地方			65	ラノーン	Ranong
49	ナコンナーヨック	Nakhon Nayok	66	スラートターニー	Surat Thani
50	ブラーーチーンブリー	Prachin Buri	67	パンガー	Phangnga
51	サケーウ	Sa Kaeo	68	クラビー	Krabi
52	チャチュンサオ	Chachoengsao	69	ブーケット	Phuket
56	チョンブリー	Chon Buri	70	ナコンシータマラート	Nakhon Si Thammarat
57	ラヨーン	Rayong	71	パッタルン	Phatthalung
58	チャンタブリー	Chanthaburi	72	トラン	Trang
59	トラート	Trat	73	パッタニー	Pattani
西部地方			74	ソンクラー	Songkhla
43	スパンブリー	Suphan Buri	75	サトゥーン	Satun
45	カーンチャナブリー	Kanchanaburi	76	ヤラー	Yala
			77	ナラティワート	Narathiwat

(出所) アジア経済研究所「アジア経済動向年報」を基に作成

タイの国土面積は約 51.3 万 km² (日本の約 1.4 倍)。バンコク首都圏の面積は国土の 1.5% しかないが、人口ではタイ全体の 25.0%、経済規模 (名目 GDP) では同 47.7% を占めている。また、一人あたり GDP でみるとバンコク首都圏とともに、東部も経済規模が大きいことが分かる (図表 24-2)。大手製造企業の本社や金融機関が多く所在するバンコク首都圏や、製造企業の生産拠点が多い東部の 2 地域で、タイの名目 GDP の 65.7% を占めている。

一方、面積の約 3 割を占める東北部や北部は、経済規模では各々 1 割弱に留まっている。西部や南部も同様に、経済規模の比率は相対的に低くなっている。

図表 24-2 地域ごとの面積、人口、名目 GDP (2023 年)

	面積		人口		名目 GDP		一人当たり GDP
	(km ²)	(構成比)	(1,000人)	(構成比)	(10億バーツ)	(構成比)	(バーツ)
全国	513,120	(100.0%)	70,043	(100.0%)	17,955	(100.0%)	256,338
バンコク首都圏	7,762	(1.5%)	17,543	(25.0%)	8,570	(47.7%)	488,524
中部	16,593	(3.2%)	3,169	(4.5%)	882	(4.9%)	278,223
東部	36,503	(7.1%)	6,499	(9.3%)	3,229	(18.0%)	496,855
西部	43,047	(8.4%)	3,656	(5.2%)	637	(3.5%)	174,198
北部	169,644	(33.1%)	11,168	(15.9%)	1,391	(7.7%)	124,540
東北部	168,855	(32.9%)	18,217	(26.0%)	1,808	(10.1%)	99,271
南部	70,715	(13.8%)	9,791	(14.0%)	1,438	(8.0%)	146,828

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

2. 県別の 1 人あたり GDP

図表 24-3 では、国家経済社会開発委員会 (National Economic and Social Development Board) の統計に基づいた県別の 1 人あたり GDP (2023 年) を階層別に表している。

これによると、1 人あたり GDP が相対的に高い地域は、バンコク首都圏、工業団地の多い東部

などとなっている。他方、相対的に低い地域は、ラオスやカンボジアの国境に近い東北部、観光都市チェンマイや電子部品等の製造業が工業団地に進出しているランプーンを除いた北部となっている。

図表 24-3 県別 1 人あたり GDP (2022 年)

地域	県名	一人当たりGDP (Baht)	地域	県名	一人当たりGDP (Baht)
北部 地方	チェンマイ	154,925	中部 地方	チャイナート	157,159
	チェンラーイ	102,988		シンブリー	151,750
	ナーン	89,515		ロップブリー	152,831
	プレー	91,324		サラブリー	344,734
	メーホーンソーン	69,828		アーントーン	135,248
	ランパーン	107,732		プラナコンシーアユタヤ	428,870
	ランプーン	236,619	バン コク 首都 圏	ナコンパトム	316,636
	パヤオ	109,275		ノンタブリー	214,515
	ターク	121,537		パトゥムターニー	246,463
	スコータイ	93,208		バンコク	675,979
	ウッタラディット	120,720		サムットサーコン	374,056
	ピサヌローク	124,884		サムットプラカーン	320,294
	カンペーンペット	155,404	東部 地方	ナコンナーヨック	126,435
	ピチット	105,054		プラーチーンブリー	388,559
	ペッチャブーン	100,936		サケーウ	82,526
	ナコンサワン	139,184		チャチュンサオ	490,005
	ウタイターニー	123,946		チョンブリー	592,335
	ブンカーン	84,021		ラヨーン	942,205
東北 地方	ノーンカーライ	107,589		チャンタブリー	253,522
	ルエイ	117,624		トラーート	164,835
	ウドンターニー	100,005	西部 地方	スパンブリー	124,482
	ノーンブアランプー	69,008		カーンチャナブリー	153,662
	サコンナコン	78,895		サムットソンクラーム	167,164
	ナコンパノム	96,731		ラーチャブリー	231,516
	ムクダーハーン	72,251		ペッチャブリー	156,719
	コーンケーン	131,987		プラチュワップキーリーカン	221,151
	カーラシン	84,785	南部 地方	チュムポーン	230,319
	マハーサーラカム	90,996		ラノーン	99,331
	チャイイヤブーム	85,951		スラートターニー	188,181
	ナコンラーチャシーマー	137,864		パンガー	229,213
	ブリラム	91,636		クラビー	174,058
	スリン	89,852		プーケット	314,921
	シーサケート	91,060		ナコンシータマラート	127,405
	ローイエット	82,491		パッタラン	87,098
	ヤソートン	77,376		トラン	111,746
	ウボンラーチャターニー	82,895		パッタニー	83,369
	アムナートチャルーン	85,707		ソンクラー	147,790
				サトゥーン	110,312
				ヤラー	108,108
				ナラティワート	64,005

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

3. 地域別の経済動向

(1) 地域別 GDP 構成比

2023年の名目GDPを基にすると、地域ごとの内訳はバンコク首都圏が47.7%と最も大きく、その他の地域は、中部が4.9%、東部が18.0%、西部が3.5%、北部が7.7%、東北部が10.1%、南部が8.0%となっている(図表24-4)。2000年以降の推移は、バンコク首都圏の構成比は01年の51.4%をピークに低下し、洪水の影響のあった11年から12年は43.5%にまで落ち込んだが、その後は再び上昇し、47.7%まで回復している。

バンコク首都圏の重要性が近年益々高まっている中で、タイ全国の名目GDPに占める比率を地域と産業のマトリックスでみても、製造業や第3次産業を中心に、バンコク首都圏の各産業の規模が大きいことが窺える。その他の地域で比率が高いのが「第1次産業」での北部、東北部、南部、「製造業」の中部、東部、東北部、「卸売・小売業」の東部、東北部、「教育・科学技術」の東北部である。

図表 24-4 地域別にみた名目 GDP の産業別構成比 (全国=100%)

	全国	バンコク 首都圏	中部	東部	西部	北部	東北	南部
全体	100.0%	47.7%	4.9%	18.0%	3.5%	7.7%	10.1%	8.0%
第1次産業	8.6%	0.3%	0.4%	1.1%	0.8%	1.9%	2.1%	1.9%
農林水産業	8.6%	0.3%	0.4%	1.1%	0.8%	1.9%	2.1%	1.9%
第2次産業	33.0%	11.2%	2.9%	11.7%	1.2%	1.9%	2.6%	1.6%
鉱業	2.0%	0.0%	0.1%	1.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%
製造業	25.0%	9.5%	2.3%	8.9%	0.7%	1.1%	1.7%	0.8%
公益業	3.6%	0.8%	0.4%	1.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
(電気・ガス)	3.2%	0.6%	0.4%	1.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
(水道)	0.4%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	2.4%	0.9%	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%
第3次産業	58.5%	36.3%	1.7%	5.2%	1.6%	3.9%	5.4%	4.4%
卸売・小売	15.8%	9.8%	0.5%	2.0%	0.4%	1.0%	1.3%	0.9%
ホテル・レストラン	5.3%	3.6%	0.0%	0.5%	0.1%	0.2%	0.1%	0.8%
運輸・倉庫	5.0%	3.0%	0.2%	0.7%	0.1%	0.2%	0.3%	0.5%
情報・通信	2.8%	2.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
金融	8.9%	6.0%	0.2%	0.5%	0.2%	0.6%	0.8%	0.5%
不動産	2.6%	1.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%
公共・防衛	7.5%	5.0%	0.2%	0.6%	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%
教育・科学技術	5.9%	2.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.7%	1.3%	0.6%
その他	4.7%	2.7%	0.1%	0.3%	0.1%	0.4%	0.6%	0.4%

(注) タイ全国のGDPに占める比率が1.2%を上回っている産業・地域を黄色、0.2%を下回っている産業・地域は青色でシャドーしている。

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

(2) 地域別の産業構造の特徴

①バンコク首都圏（2023年名目GDP構成比：47.7%）

バンコク首都圏は、タイのGDPの約半分が集中している。産業別（図表24-5参照、以下同様）では、他地域に比べて第3次産業の比率が高い（76.0%）。第3次産業では特に「卸売・小売」、「情報・通信」、「金融」、「公共・防衛」産業が経済を牽引している。

②中部（同：4.9%）

中部の特徴は、製造業を中心とした第2次産業の比率が58.5%と、全国平均（33.0%）を大幅に上回っていることにある。製造業の中でも構成比が高まっている自動車産業（主に自動車部品メーカー）や家電メーカーが集積している影響が表れている。

③東部（同：18.0%）

東部は、中部以上に第2次産業の構成比が高い（64.8%）。製造業の中でも構成比が高まっている自動車産業（主に完成車メーカー）や化学産業が集積している影響が表れている。

④西部（同：3.5%）

西部の特徴は、バンコク首都圏に比較的近いにもかかわらず、第1次産業の構成比が23.2%と全国平均（8.6%）を大きく上回っていることにある。また、第2次産業の構成比が32.5%となっており、この内の7.4%を公益業が下支えしている状況にあり、製造業（19.3%）の育成は比較的遅れている。

⑤北部（同：7.7%）

北部の特徴は、第1次産業の構成比が24.9%と全国平均（8.6%）を大幅に上回っていることにある。ランプーン県を中心に小型高付加価値の電子部品産業が多く進出しているが、アクセス（陸運、空運）が他地域に比べて劣ることもあり、第1次産業（主に農林業）を中心である。

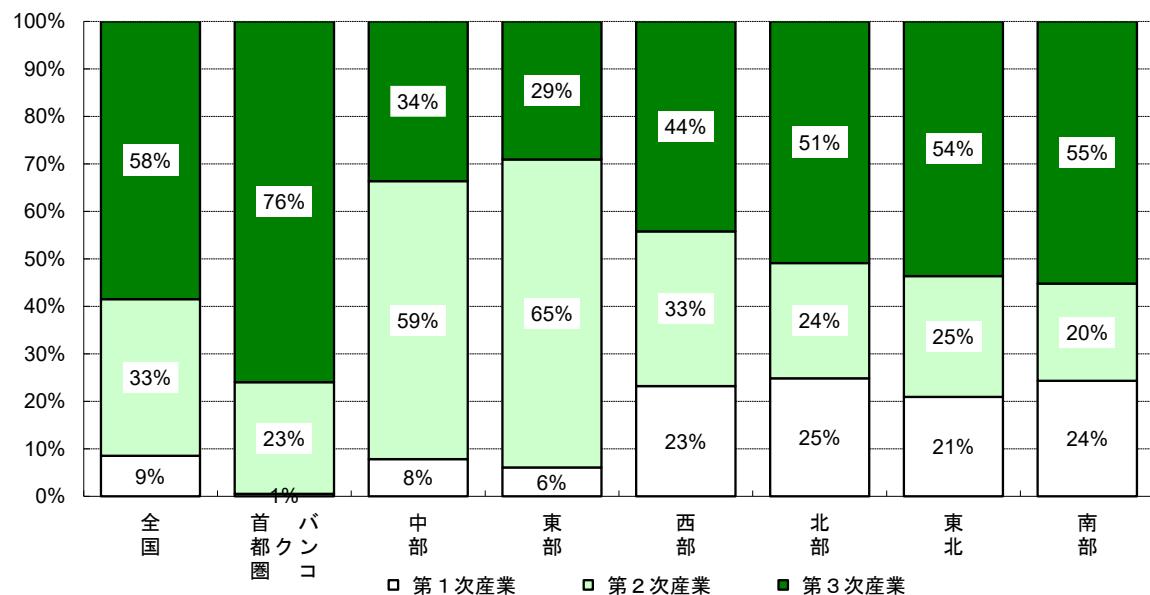
⑥東北部（同：10.1%）

東北部の産業構成は北部と同様に第1次産業（21.0%）の比率が高い。

⑦南部（同：8.0%）

南部は農林業に加え漁業も盛んであり第1次産業の構成比が24.3%と最も高く、観光都市も多いため「ホテル・レストラン」（9.4%）の構成比が全国平均（5.3%）を上回っている。

図表 24-5 地域別にみた名目 GDP の産業別構成比（各地域を 100%とした場合）



	全国	バンコク 首都圏	中部	東部	西部	北部	東北	南部
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
第1次産業	8.6%	0.6%	7.8%	6.1%	23.2%	24.9%	21.0%	24.3%
農林水産業	8.6%	0.6%	7.8%	6.1%	23.2%	24.9%	21.0%	24.3%
第2次産業	33.0%	23.5%	58.5%	64.8%	32.5%	24.3%	25.5%	20.5%
鉱業	2.0%	0.0%	2.2%	6.5%	1.9%	3.2%	1.0%	3.0%
製造業	25.0%	19.9%	45.9%	49.4%	19.3%	14.5%	17.1%	10.4%
公益業	3.6%	1.7%	8.6%	7.1%	7.4%	2.8%	3.3%	3.2%
(電気・ガス)	3.2%	1.3%	8.3%	6.3%	7.0%	2.3%	2.9%	3.0%
(水道)	0.4%	0.4%	0.3%	0.7%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%
建設業	2.4%	1.8%	1.9%	1.8%	4.0%	3.8%	4.1%	3.9%
第3次産業	58.5%	76.0%	33.6%	29.1%	44.2%	50.9%	53.6%	55.2%
卸売・小売	15.8%	20.5%	10.8%	10.9%	11.9%	12.7%	12.5%	10.9%
ホテル・レストラン	5.3%	7.5%	0.8%	2.8%	4.1%	2.4%	1.2%	9.4%
運輸・倉庫	5.0%	6.3%	4.0%	4.1%	3.6%	2.6%	2.8%	5.7%
情報・通信	2.8%	5.2%	0.5%	0.4%	0.7%	0.9%	0.7%	1.0%
金融	8.9%	12.5%	3.8%	3.0%	5.6%	7.6%	8.4%	6.8%
不動産	2.6%	2.2%	2.0%	1.5%	3.3%	3.9%	4.3%	3.5%
公共・防衛	7.5%	10.4%	5.1%	3.1%	5.9%	5.8%	5.3%	6.5%
教育・科学技術	5.9%	5.7%	4.0%	1.6%	5.2%	9.2%	12.7%	7.1%
その他	4.7%	5.7%	2.8%	1.7%	3.9%	5.7%	5.7%	4.4%

(注) 構成比が「全国」を 2% ポイント上回っている産業・地域を黄色、2% ポイント下回っている産業・地域を青色でシャドーしている。

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

4. 賃金水準

2012年末以前のタイでは、県ごとに最低賃金が異なっていた。76県のデータが揃った94年4月時点では最高水準の県は最低水準の県の1.22倍だったが、両者の格差は徐々に拡大し、12年末時点には1.35倍となっていた。2013年1月より日額の最低賃金は一律300バーツ（約1,000円）となったものの、17年1月より再び地域の格差が生じている。その後段階的に改定され、2025年1月からは、日額337～400バーツまでの間で設定されている。

金額に関しては、県を17つのグループに分け、グループごとに異なる最低賃金が適用される。最高額（400バーツ）は、プーケット、チャチュンサオ、チョンブリー、ラヨーン、スラートターニー（サムイ島郡）に適用され、最低額（337バーツ）は、南部3県（ナラティワート、パッタニー、ヤラー）に適用される（図表24-6）。

図表 24-6 県別にみた最低賃金（2025年1月）

番号	最低賃金 (バーツ)	県
1	400	プーケット、チャチュンサオ、チョンブリー、ラヨーン、 スラートターニー（サムイ島郡）
2	380	チェンマイ（ムアンチェンマイ郡）、ソンクラー（ハートヤイ郡）
3	372	バンコク、ナコンパトム、ノンタブリー、パトゥムターニー、サムットプラカーン、 サムットサーコン
4	359	ナコンラーチャシマー
5	358	サムットソンクラーム
6	357	コーンケーン、チェンマイ（ムアンチェンマイ郡以外）、プラチーンブリー、プラ ナコンシーアユタヤ、サラブリー
7	356	ロッブリー
8	355	ナコンナーヨック、スパンブリー、ノーンカーアイ
9	354	クラビー、トラート
10	352	カーンチャナブリー、チャンタブリー、チェンラーイ、ターキー、ナコンパノム、ブリ ラム、プラチュワップキーリーカン、パンガー、ピサヌローク、ムクダーハーン、 サコンナコン、ソンクラー（ハートヤイ郡以外）、サケーウ、 スラートターニー（サムイ島郡以外）、ウボンラーチャターニー
11	351	チュムポーン、ペッチャブリー、スリン
12	350	ナコンサワン、ヤソートン、ランプーン
13	349	カーラシン、ナコンシータマラート、ブンカーン、ペッチャブーン、ローイエット
14	348	チャイナート、チャイヤーム、パッタルン、シンブリー、アントーン
15	347	カンペーンペット、ピチット、マハーサーラカム、メーホンソーン、ラノーン、 ラーチャブリー、ランパーン、ルーイ、シーサケート、サトウーン、スコータイ、 ノーンブアランブー、アムナートチャルーン、ウドンターニー、ウッタラディット、 ウタイターニー
16	345	トラン、ナーン、パヤオ、プレー、
17	337	ナラティワート、パッタニー、ヤラー

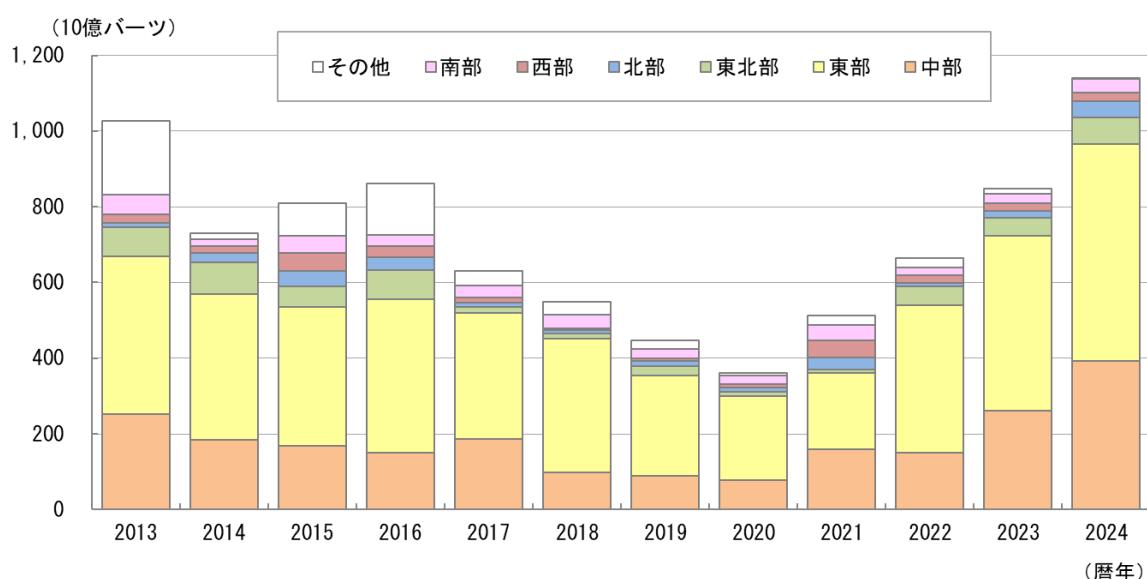
（出所）JETRO 資料より作成

5. 近年の地域別投資動向

BOIで認可された投資案件 (Application Approved) の投資額を地域別にみると、バンコク首都圏を含んだ中部と、多くの工業団地がある東部に集中している。2013年から24年までの12年間の累計では、中部は約2兆1,693億バーツと全体の25.3%を、東部は約4兆3,755億バーツと同51.0%を占めている。2017年以降はタイ全体のFDI認可額が減少傾向にあり、特に2020年は新型コロナウイルスの影響を受け大きく落ち込んでいるが、直近2024年は1.1兆バーツを超える水準まで回復している。

また、中部と東部以外の地域の2013年から24年までの12年間の累計は、東北部の比率は6.2%、南部が4.5%、西部が3.0%、北部が3.0%といずれも全体の1割にも満たない水準である。

図表 24-7 地域別にみたBOI投資申請額（認可ベース）



(出所) BOI資料より作成

6. 外資企業の関心が高い工業団地

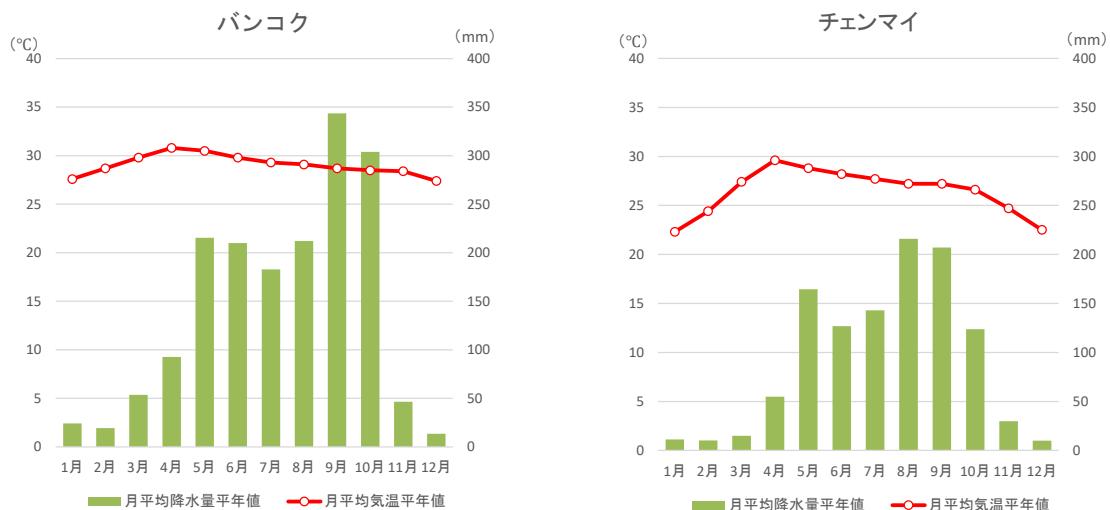
タイには現在、約80の工業団地が存在し、この内の55カ所はタイ工業団地公社 (IEAT) によって開発・管理されている（民間との合弁での運用管理を含む）。これらの工業団地は、主に中部から東部にかけての地域に多く立地している。中でも東部のラヨーン、チョンブリー、チャチュンサオ、中部のアユタヤに多くの工業団地が立地している。

工業団地の中で日系企業が多いのは、アマタシティ・チョンブリー工業団地、イースタンシーボード工業団地、バンプー工業団地である。日系企業の多くは中部から東部に進出しているが、北部ランプーンの北部工業団地や東北部のナコンラーチャシマーのスラナリ工業団地に進出している日系企業も多い。

【参考】地域別気候

タイは熱帯性モンスーン気候で、非常に暑く雨が多いが、南北の地域ではやや違いがある。北部のチェンマイは山岳地帯ということもあり、バンコクに比べると12月、1月前後は気温がやや低めで、過ごしやすくなっている。

図表 24-8 地域別の気温と降水量（平年値）



（出所）気象庁「世界の天候データツール」より作成